



「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で35回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式は、6月5日（火）に富山国際会議場メインホールで行われ、学術研究部門で4名、文化・芸術部門で1名の計5名の方々が受賞されました。

第35回受賞者

学術研究部門 医薬分野(疾患病態治療学)

慶應義塾大学医学部循環器内科 講師

片岡 雅晴 氏

難病循環器疾患における病態解明と治療法開発による医療貢献



学術研究部門 理工分野(化学)

富山県立大学工学部教養教育 准教授

山村 正樹 氏

元素の特性を活用した高次分子複合体の設計・開発



学術研究部門 人文社会分野(心理学)

富山大学人文学部 准教授

坪見 博之 氏

視覚的注意とワーキングメモリの容量制約に関する実験心理学的研究



学術研究部門 人文社会分野(刑事法学)

九州大学大学院法学研究院 准教授

野澤 充 氏

刑事法学における法制史的観点からの研究・分析方法の再構成——中止犯制度を素材に



文化・芸術部門 (声楽)

東京二期会 オペラ歌手

名古屋音楽大学 専任講師

森 雅史 氏

声楽(バス)



選考委員長講評



石井理事長より授与



受賞記念講演